STARLET-4

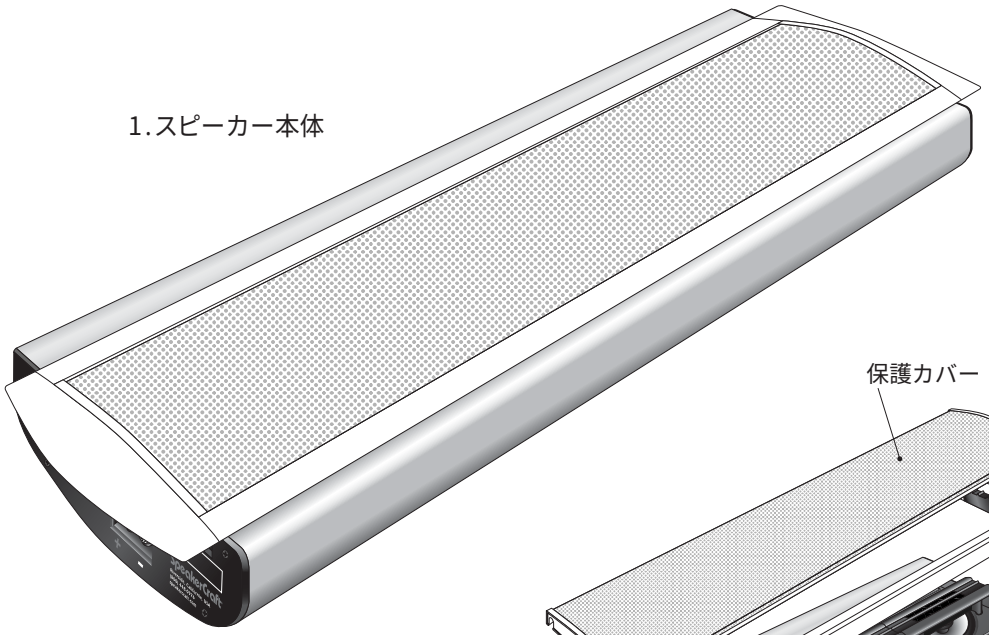
Line Source In-Wall Speaker

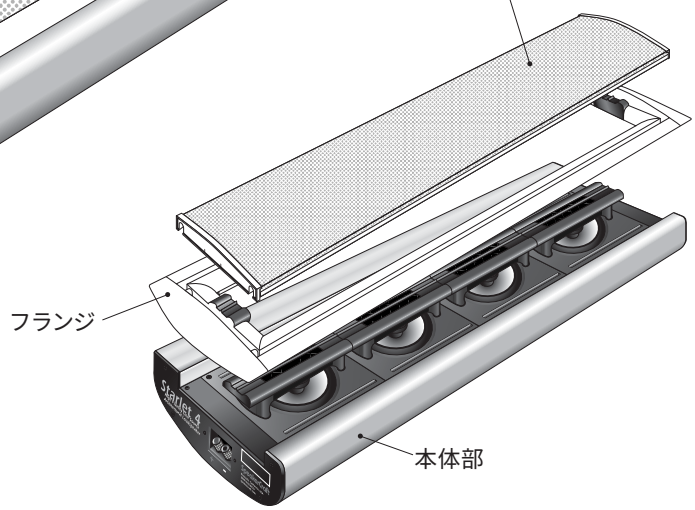
取扱説明書

■梱包物の内容

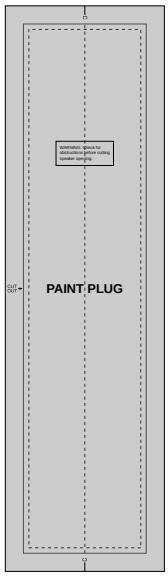
STARLET-4には、以下のものが梱包されています。

1.スピーカー本体

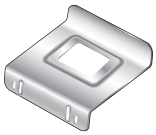




2.ダンボール紙
壁穴切り出し用テンプレート
および塗料マスク



3.付属品パック



外ブラケット

内ブラケット

ゴム製
サポートブロック

M4-20mmネジ
外/内ブラケット用
2個

六角頭M4-45mmネジ
8個

3mm六角頭M4
ドライバービット
電動スクリュードライバー用

■この説明書をよくお読みのうえ、工事の専門技術者が施工を行なってください。
■施工の際には本製品のサイズおよび重量を考慮し、必要に応じて取り付け箇所への補強処理などを行なってください。
■この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いします。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■改造しない

分解禁止

●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■水の入った容器を置かない

●本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■中に物を入れない

●本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■締めつけについて

●ネジなどによる締めつけは確実に行ってください。緩んだまま使用しますと、事故の原因となります。

■天井面の切断について

●天井面を切断する場合は、切断面のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。ケガ・火災・感電の原因となります。

■取付け場所について

●本製品は一般屋内専用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
●スピーカーを取り付ける壁面や天井面の強度によっては、補強が必要な場合があります。

■取付け後のご使用にあたって

●取付け中、または取付け完了後に、本体にぶら下がったり、より掛かったり、むやみに力を加えたりしないでください。落下・破損の原因となります。

⚠注意

■設置上の注意

●移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になります。

■スピーカーコードは安全な場所へ

●スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

■次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■使用上の注意

●電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

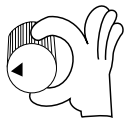
●長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

■取付け場所について

●本製品を天井面に取付ける際は、充分な強度のある平らな面を選んでください。

●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。近くで使用しますと、火災や事故の原因となることがあります。

音のエチケット／楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



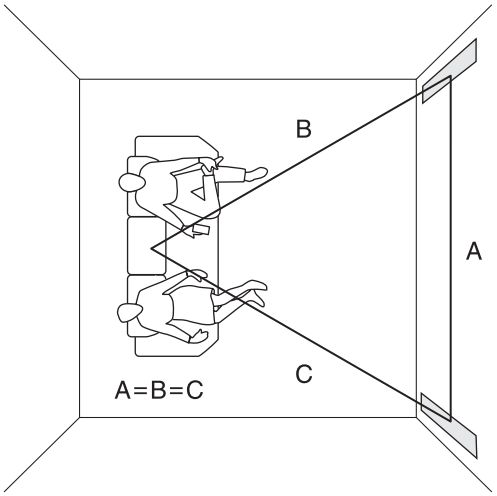
スピーカーの設置準備

STARLET-4を設置される前に以下の点にご注意ください。

●両スピーカーの間隔の決定

リスニングポイントと左右のSTARLET-4が、最も大きな正三角形を描けるよう設置位置を決定してください（図1参照）。

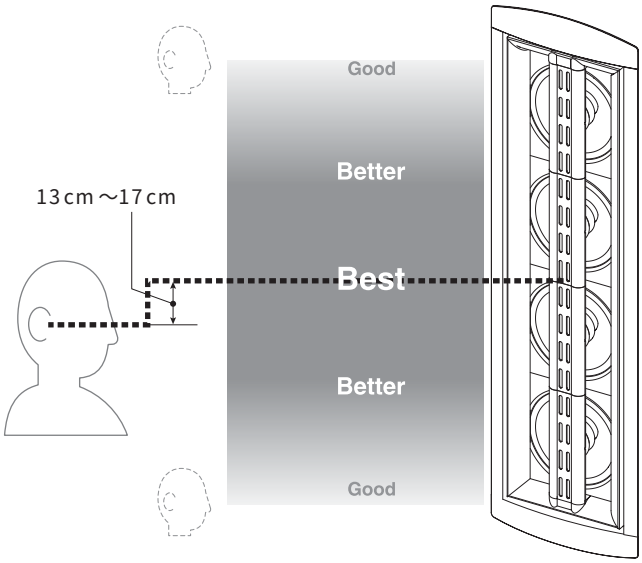
図1



●推奨する設置ポイントの高さ

STARLET-4の最も視聴に適した設置ポイントの高さとして、視聴する際の耳の高さより13～17cm上にSTARLET-4の中心がくるような設定を推奨します。この高さよりも高く設置する場合は、ボトムユニットとそのひとつ上のユニット間が、視聴時の耳の高さと揃うようにしてください。（図2参照）。

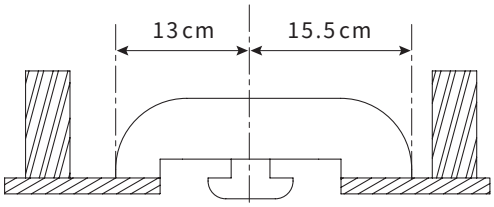
図2



●必要な空きスペース

STARLET-4自身が薄型のエンクロージャーで囲まれているため、緩衝材などを必要とせず、奥行き8.5cmのスペースがあれば設置可能です。総幅約28.5cmのエンクロージャーは、特に音質面での左右の特定は不要ですが、ユニット中心から一方の端までは約15.5cm、もう一方の端までは13cmと、左右非対称形になっているので、設置の際にどちらを外側にするか必要に応じて選択していただけます（図3参照）。

図3



●障害物の確認

STARLET-4の配置位置を決定する前に、間柱、防火帯、電線、配管、あるいは他の固定設備など、配置の障害になり得るものの位置を十分に考慮しておく必要があります。すでに建築されている壁にスピーカーを設置する場合は、壁固定設備の配置位置を把握しておくことをおすすめします。間柱の確認は、間柱検索用具などで位置を特定することが可能です。

●フランジ／保護カバーの塗料塗布

フランジおよび保護カバーに塗料を塗る場合は、本体に取り付ける前に行なってください。将来、塗料を塗るためにスピーカーを取り外す必要が生じた場合には、右記の「スピーカーの設置」の手順を逆に行ってください。

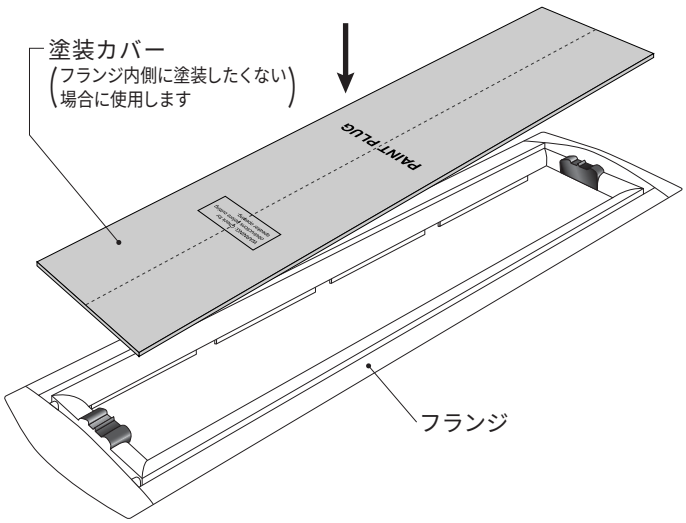
保護カバー部に塗料を塗るときには、まずグリルからグリル下敷きを外してください。塗料でグリル穴を塞いでしまうとスピーカーの音質を非常に悪くしてしまうのでご注意ください。グリルに塗った塗料が完全に乾いてから、グリル下敷きをもとに戻してください。

※グリルは、スピーカーに取り付けられた状態では塗布しないでください。グリル下敷きに塗布する必要がある場合には、グリルの塗布と同じ手順で行ってください。

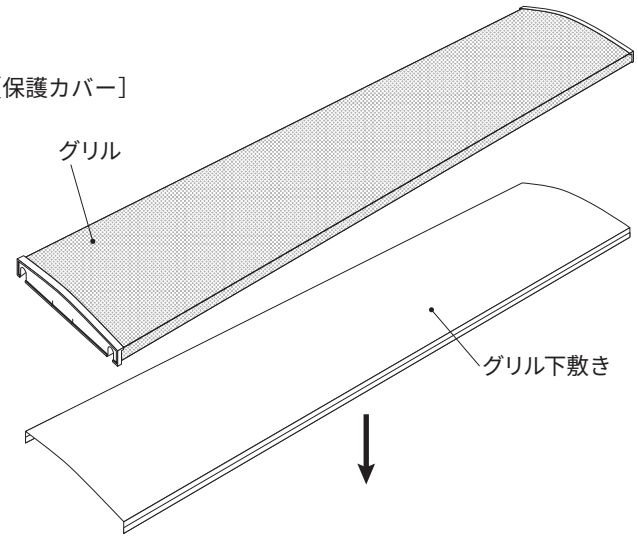
★スピーカークラフト社は原液1、塗料薄め液5の割合で作った塗料を軽くスプレー塗布することをお勧めします。

図4

［フランジ］



［保護カバー］



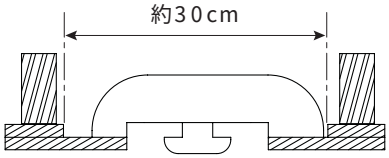
設置

●注意事項

可能な限り最高のサウンドをつくり出すために、下記の点にご注意ください。

1. STARLET-4の本体部とフロントバッフルの間の留め金は、厚さ1.3cmのプラスターボード（壁材）の挟み込みを想定しています。もし壁材がそれ以上の厚みを持つ場合は、約30cmの幅だけは1.3cmの厚みになるよう加工してください（図5参照）。
2. STARLET-4の自重に耐えられるよう、設置する壁はネジの使用に耐えられる素材で、間柱に接着されている壁面をご使用ください。
3. 音質面での劣化を防ぐため、STARLET-4を設置する壁面を金属製の門柱で支えることは避けてください。
4. STARLET-4の設置の前にスピーカーケーブルの設置を済ませておいてください。

図5



●順序

すでに建築済みの壁にSTARLET-4を設置する場合には、以下の説明に従ってください。

1. 配置場所の決定

4ページの「両スピーカー間隔の決定」の欄を参照してください。

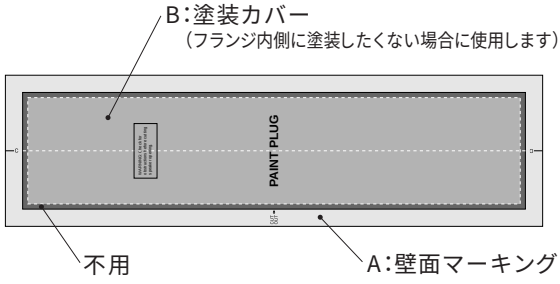
2. 障害物の特定

4ページの「障害物の確認」を参照してください。

3. テンプレートによる型取り

テンプレートは、パッケージの中に含まれています。2つに分かれていますので気をつけてください。
外側のテンプレート（A）は壁面マーキング用で、内側のテンプレート（B）は、スピーカーのユニット部に塗装するときのカバー用です（図6参照）。まず、STARLET-4を設置しようと決めた位置に、テンプレート（A）を置いてください。フランジ部はスピーカーの左右上下の端を越える大きさです。

図6



切り出し穴の位置を決める時には、本体部が左右非対称形であることを考慮に入れてください。このことによって、本体部を一般的な37cm幅の間柱の間に設置する際、左右に少しの余裕ができるはずです。

以上に注意しながら、切り出し穴が正しい角度で切り出せるように、テンプレートの水平を水準器などで特定してください（図7-A参照）。位置が決まったらテープや画びょうでなどでテンプレートの外枠を固定して内側に型取りしてください（図7-B参照）。

図7-A

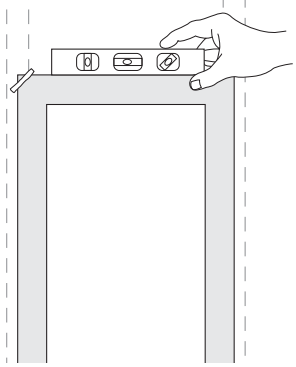
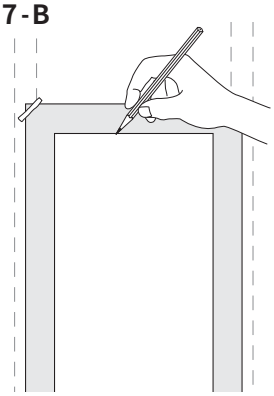


図7-B



4. 設置穴の切り取り

取り付け予定位置の内側の障害物の有無が分からない場合は、まず鉛筆で型取ったスペースの中央にドリル等で小さな穴を開けます。次にプラスターボード用のノコギリを使って、穴の内側の方向に45度前後の角度で切り込みを入れます（図8-①参照）。この角度で穴を開けると、もし場所を変更する時に、切り出したカケラを使うことによってプラスターボードの修復がたいへん楽になります。
（45度前後で切り込みを入れておくことで、プラスターボード本体との接着面積が大きくなります）
設置予定位置に障害物がないことを確認したら、今度はプラスターボードの表面に対して90度の角度で最終的な穴を開けていきます（図8-②参照）。

図8-①

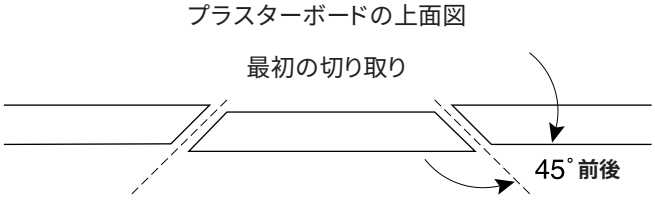
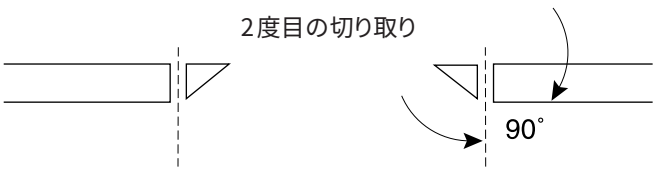


図8-②



5. ブラケットの取付け

ブラケットには、外側ブラケットと内側ブラケットの2種類があります。まずブラケットを切り出した穴の底辺にあてがって固定場所を決め、取り付けるためのネジの穴の位置を鉛筆などでマーキングします。次にマーキングの場所をドリルで穴を開けます。そして、穴にあうように内側ブラケットをあてがいます。再び壁面を挟み込むように再び外側ブラケットをあてがい、ネジで固定していきます（図9参照）。

※完成したブラケットは、本体部が壁の空洞に落ちるのを防ぐ棚の役目をします（図10参照）。

図9

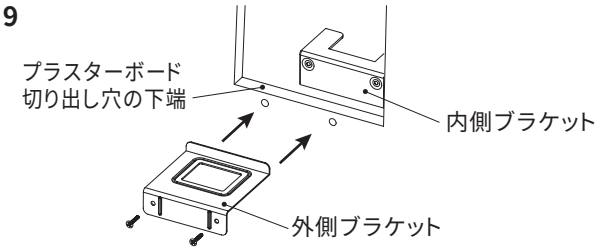
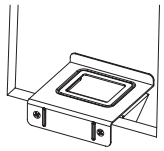


図10



●スピーカーケーブルの接続

本体の壁内への設置の前に、本体とケーブルを接続してください。

本体部の上面と下面のそれぞれにケーブルターミナルが装着されていますが、いずれも全く同じものなので、容易な方にケーブルを接続してください（7.5m以下、芯径2.1mm～3.3mmを推奨）。また、両ターミナルに並列接続していただくことも可能です。できるだけ短く、太いケーブルをご使用ください。なお、下面のターミナルを使用する場合は、ケーブルを先に取り付け済のブラケットの穴に通してから本体部に接続してください。

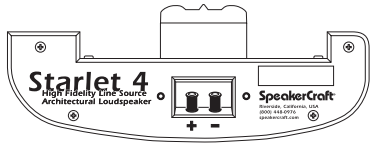
※アンプとスピーカーの接続の間での、何らかの機器（インライン・スピーカーレベル・コントローラー等）による音質調整は、STARLET-4の性能を著しく下げるため、推奨いたしかねます。

※さらに力強い低域再生をお望みであれば、別にサブウーファーシステムをご用意いただく必要があります。

STARLET-4の配線

本体部の上面と下面のそれぞれにケーブルターミナルが装着されていますが、いずれも全く同じものなので、容易な方にケーブルを接続してください。また、両ターミナルに並列接続していただくことも可能です。できるだけ短く、太いケーブルをご使用ください。

図11



●本体部の設置

まず、ツィーターブリッジの後ろのボイスコイルに触らないように気をつけながら、ツィーター部をつかんで、本体部を持ち上げます。本体部のグレー部分の幅の広い方を壁の中に差し入れていきます（図12、13-A参照）。そして、グレー部分の幅の短い方のサイドを壁の空洞に滑り込ませます（図13-B参照）。次に本体部を正面に向けて（図13-C参照）、ツィーターブリッジがまん中になるまでスピーカーを左（または右）へ動かします（図13-D参照）。

図12

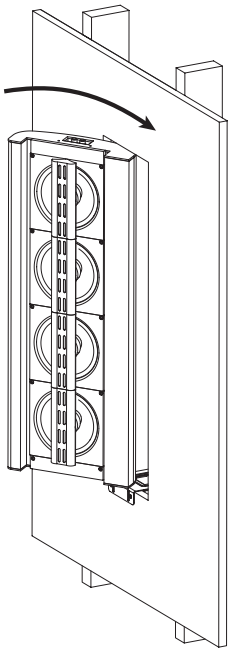


図13-A

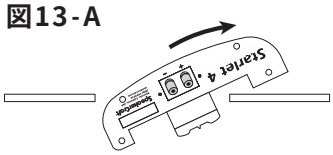


図13-B

図13-C

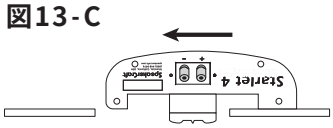
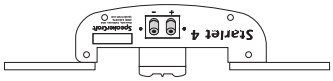
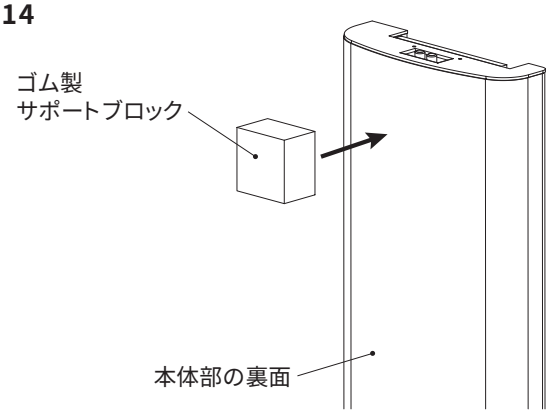


図13-D



- STARLET-4の本体部は壁内に8.5cm入り込みます。壁面の奥行きは在来方法や2×4工法等で奥行きは異なりますが、奥行きが深い場合は、作業中に本体が下へ落下しないように、付属のゴム製サポートブロックを本体の後ろに貼って使用します。

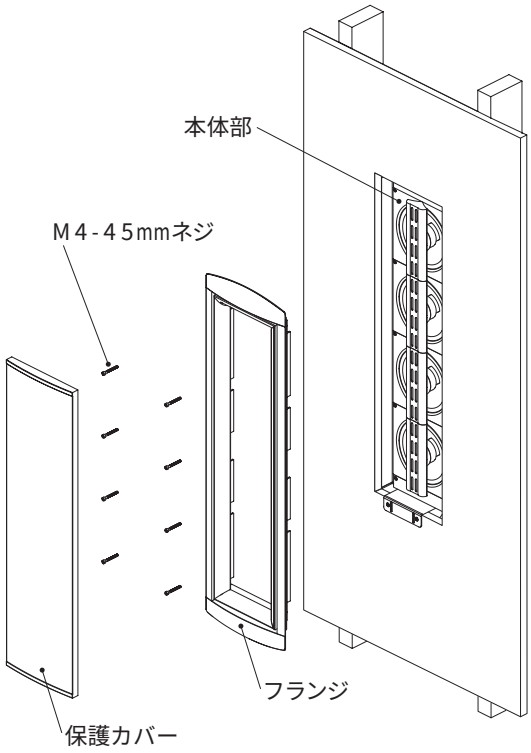
図14



●フランジ部の装着

次にフランジを本体部に装着します。フランジは本体に対して上下方向がありますのでご注意ください。本体部にフランジをしっかりと差し込んだ後、付属のM4×45mmの六角穴ネジを使用してとめてください（8ヶ所）。六角穴ネジにあう工具がない場合は付属の六角頭アダプターをご使用ください。より確実な取り付けのために、電動ドライバーをご利用になることをおすすめします。

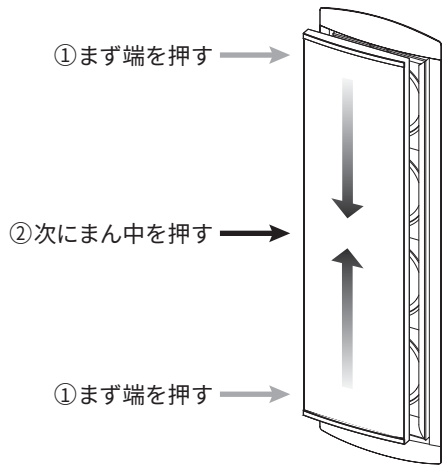
図15



●保護カバー（グリル&グリル下敷き）の装着

保護カバー部は特殊な布で裏打ちされた金属性のグリル部分と、2つのプラスティック製の先端キャップで構成されています。保護カバーは長さが長いので、装着の際には慎重にゆっくりと押してください。保護カバーに力を加えるときは、まず上下先端を同時に押し（①）、その後、中心に向かって力を移動させていく方法（②）をおすすめします。まず片方の先端を差し込んで、次に他方を差し込むという方法は好ましくありません（図16参照）。

図16



■STARLET-4 仕様

ツィーター	11.4cm×1.9cmリボン型×4
ウーファー	16.5cmケブラーコーン型×4
再生インピーダンス	6Ω
入力感度	90dB（1W/1m）
周波数特性	42Hz～20kHz　±2dB
許容入力	5～150W
必要アンプ	定格出力75W／ch以上
外形寸法	28.5W×92.0H×11.3D cm
カットアウト寸法	19.5W×87.0H cm
重　　量	15.4kg

※製品の特徴や仕様が予告なく変更されることがあります。

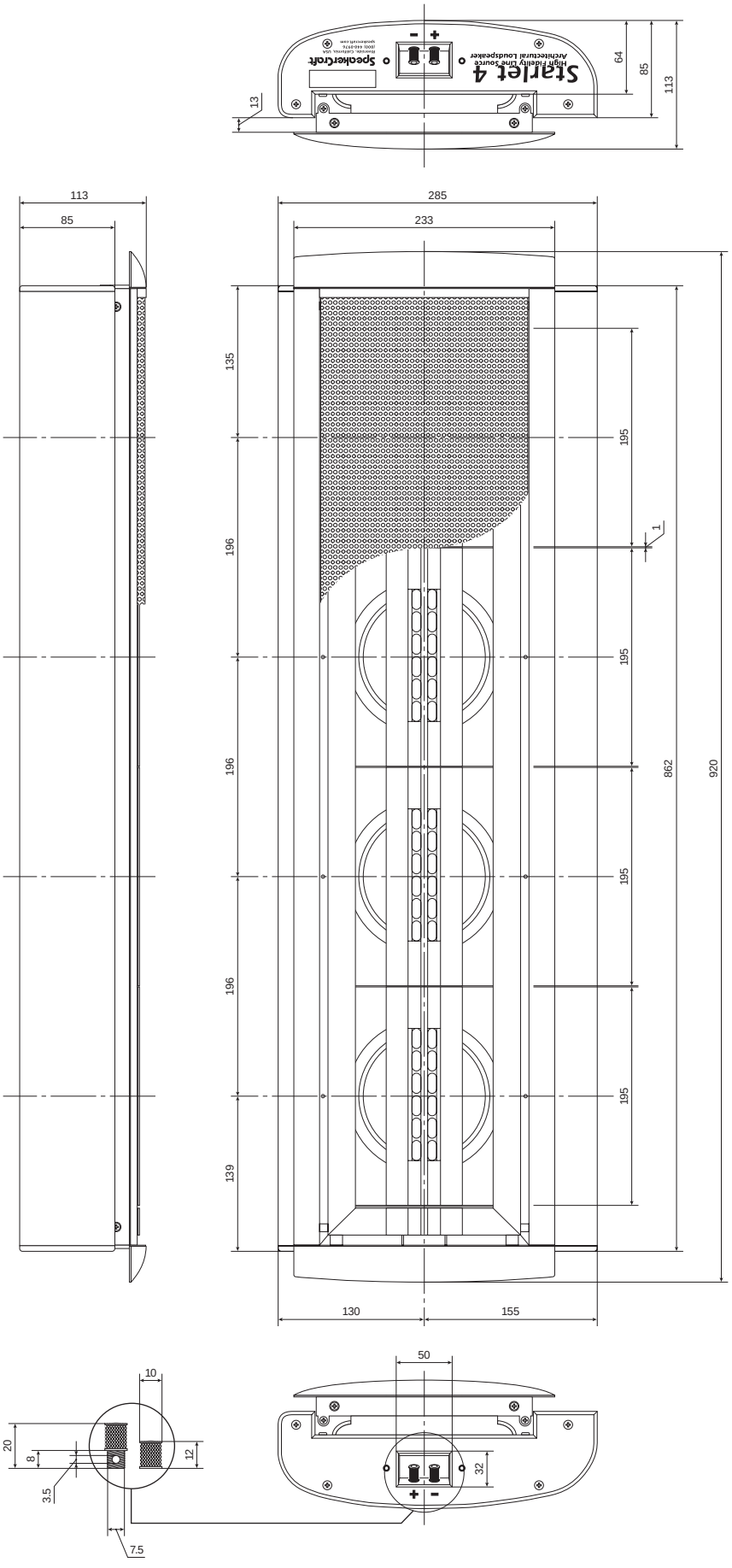
SpeakerCraft社製品ご相談・修理窓口のご案内

オンキヨー株式会社　カスタマーセンター

●e-mail：customer@onkyo.co.jp
●ＴＥＬ：ナビダイヤル　0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話）または　072-831-8111（携帯電話、PHSから）
●郵　便：〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1　オンキヨー株式会社　カスタマーセンター行

■図面1

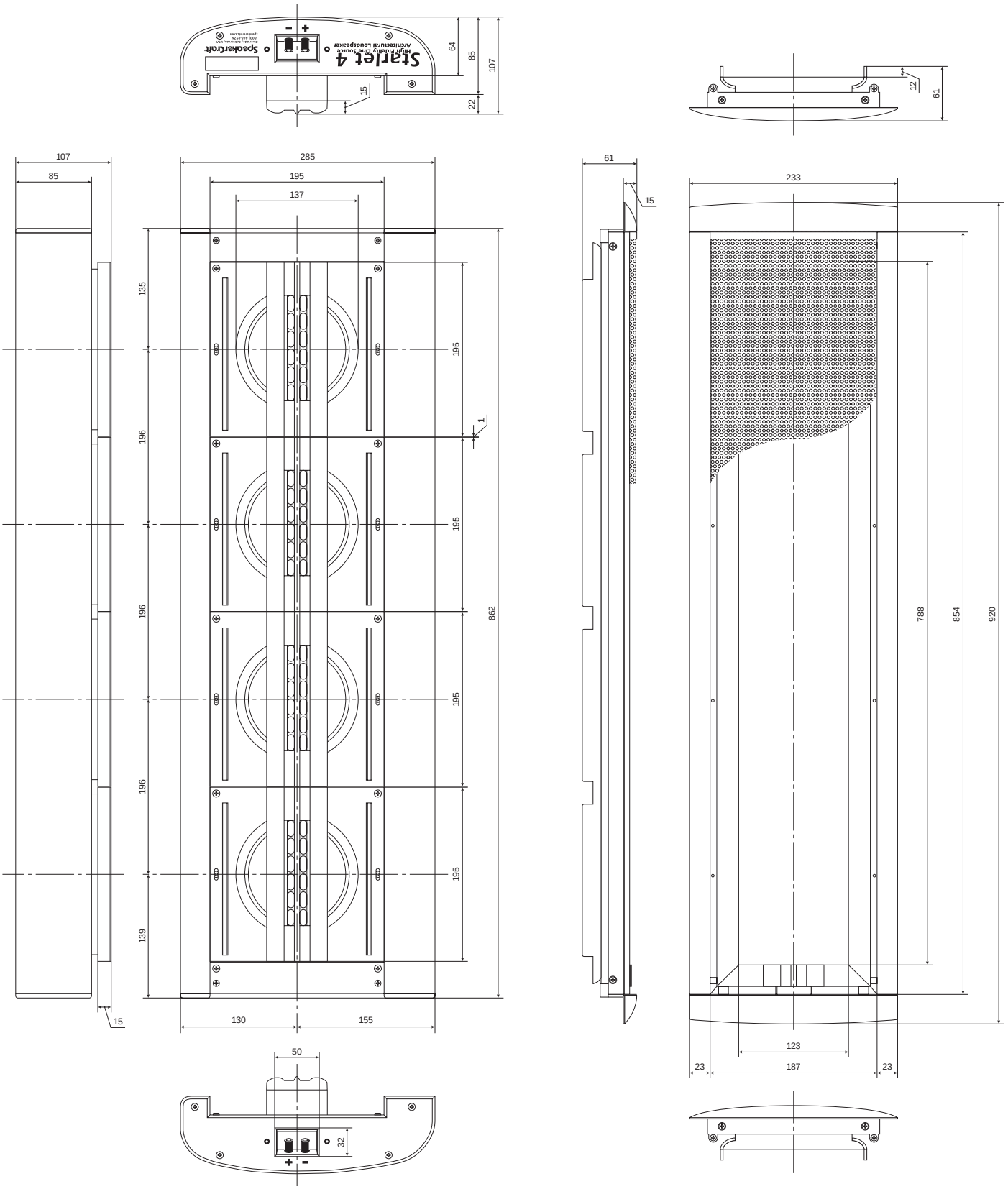
外形寸法：幅28.5×高さ92.0×奥行き11.3cm（本体部+フランジ部：本体部、フランジ部の個別寸法図は裏面）
カットアウト寸法：幅19.5×高さ87.0cm
重量：15.4kg



■図面2

［本体部］
外形寸法：幅28.5×高さ86.2×奥行き10.7cm
重量：12.1kg

［フランジ部］
外形寸法：幅23.3×高さ92.0×奥行き6.1cm
重量：3.3kg



SpeakerCraft®

輸入販売元

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社／大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572-8540